

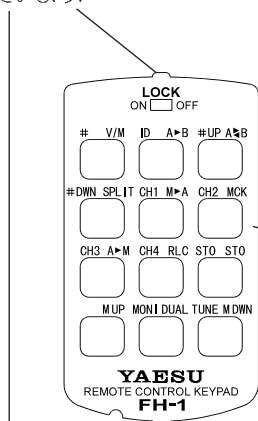
# リモートコントロールキーパッド FH-1

## 取扱説明書

お買い上げいただきました **FH-1** は、当社の“**MARK-V FT-1000MP**”または“**FT-1000MP**”に接続することにより、あらかじめトランシーバー本体に内蔵してある4種類の機能を手元から簡単にコントロールすることができるようになります。

### 各部の説明

テンプレートは、上下にある2つの突起で **FH-1** 本体に取り付けられています。



(裏側)

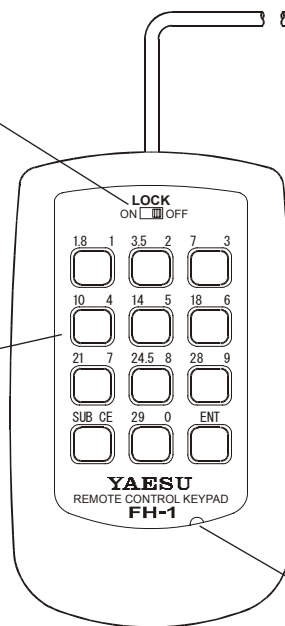
キーヤーコントロールとして使うときにはオレンジ色で書かれた左側の文字の動作になり、メモリーコントロールとして使うときには白色で書かれた右側の文字の動作になります。

#### LOCKスイッチ

このスイッチを“ON”にすると、キーボードの動作を受け付けなくなります。

#### テンプレート

選択した機能にあわせ、表裏を入れ換えて使用します。



#### 接続プラグ

トランシーバー背面のREMOTEジャックに接続します。

テンプレートを入れ換えるときには、ドライバーなどの先の尖ったものをこの隙間に差し込んで取り外します。

### 使いかた

- トランシーバーの電源を“OFF”にし、FH-1の接続プラグをトランシーバー背面のREMOTEジャックに接続します。
- FH-1を操作しやすい場所に置き、トランシーバーの電源を“ON”にします。
- メニューモードにより、希望する機能にFH-1を設定します。
  - FASTスイッチを押しながらBANDスイッチのENTキーを押します。
  - VRf/MEM CHツマミ (MARK-V FT-1000MPの場合) またはMEM/VFO CHツマミ (FT-1000MPの場合) をまわして、Menu Number “7-9”を呼び出します。
  - メインダイヤルツマミをまわして、希望の機能を選択します。
    - keyer (キーヤーコントロール): トランシーバーに内蔵してあるメモリーキーヤーをコントロールできます。
    - fkeys (メモリーコントロール): パネル面の各スイッチと同様の動きをします。
    - uFo-A (メインバンドセレクトター): MAIN (VFO-A)に対する数字キーとして動作します。
    - uFo-b (サブバンドセレクトター): SUB (VFO-B)に対する数字キーとして動作します。
  - ENTキーを押して設定します。
- 設定した機能にあわせて、テンプレートを取り付けます。
- 各機能の詳細は、トランシーバーの取扱説明書に記載してありますので、そちらを参照してください。
- FH-1を使用しないときには、LOCKスイッチを“ON”にすることにより、誤操作を防止できます。

### 注意

- FH-1の接続プラグは、背面のREMOTEジャック以外には接続しないでください。
- 誤動作の原因となるため、2つ以上のキーを同時に押さないでください。
- FH-1の機能を“keyer”に設定したときに、TUNEスイッチを押すと、運用モードに関係なく押すだけで送信状態になり、電波が出ますのでご注意ください。